

TMS の [Behind Firewall] 設定とは何ですか。またそれを [Reachable on Public Internet] の代わりに使用するのとはなぜですか。

目次

[概要](#)

[TMS \[Behind Firewall\] \[Reachable on Public Internet\]](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は Cisco TelePresence Management Suite に関連しています。

Q. TMS の [Behind Firewall] 設定とは何ですか。またそれを [Reachable on Public Internet] の代わりに使用するのとはなぜですか。

A. この設定を見つけるため:

1. システム > ナビゲーターに行き、設定したいと思うシステム/エンドポイントを選択して下さい。
2. **Connection** タブをクリックして下さい。
3. システム 接続設定に 4 つのオプションがあります: 得難い LAN で到達可能公衆インターネットで到達可能ファイアウォールの後ろ

システムが公衆インターネットの到達可能で設定されるとき、TMS はファイアウォールか NAT ルータによってブロックされないでそれに接続できると期待します。

後ろファイアウォール オプションは home/SOHO セットアップでよくあるように TMS が直接に接続できないファイアウォールまたは NAT ルータの背後にあるそれらのようなサポートされているデバイスによって動作するようにします。

後ろファイアウォールで設定されるシステムはまだ他のシステムのようなアクティビティのための TMS にフィードバックを送信しますが、また実行されるあらゆる保留中のコマンドのための TMS をポーリングします。このような理由で、後ろファイアウォールに設定されるシステムへの変更は 15 分毎にであるすぐに実施されません時、適用します次にシステム接点 TMS。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)